

事務事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業				会計	介護保険				
					事業種別	政策	開始	12	終了	
課等名	介護高齢課		係等名	基幹包括支援センター						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	35	高齢者福祉の推進							

目的	対象(誰・何を)	徘徊のおそれのある高齢者				対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	介護者の精神的、経済的負担を軽減するとともに、要介護者が快適に安心して暮らせる					徘徊のおそれのある高齢者(認知症自立度Ⅱ以上、日常生活自立度A2以下の介護保険認定者)数		1630	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせる高齢者の割合								

目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	事業の利用者数/対象者数×100			0.5	0.4	0.5			
	定性目標									

事業概要

徘徊のおそれのある高齢者の介護者に対して、位置情報検索システムを利用できる端末機を貸与することで、徘徊高齢者の安全確保と介護者の精神的・経済的負担軽減をし、在宅介護の継続及び向上を図る。
 端末機貸与のための初期費用7,000円と交換用バッテリー代2,100円を補助する。
 個人負担は毎月の利用料525円(位置情報取得した場合別途情報料)

24年度事業内容	事業内容		名称		活動指標	
	徘徊のおそれのある高齢者の介護者に対して、位置情報検索システムを利用できる端末機を貸与する。		利用者数		7名	

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	70	80	36	80	地域支援事業交付金の任意事業 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号保険料21% (そ)徘徊高齢者家族支援事業利用者負担金
国庫支出金	13	32	1	19	
県支出金	7	16		10	
起債					
その他	36		34	31	
一般財源	14	32	1	20	
人件費計(千円)②	72		72		
正規職員所要時間	20		20		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	142	80	108	80	

事業内容・目標達成状況の振り返り

7人利用していたが、3名解約があった。ココセコムの申し込みの打診があったが、機器が大きめで使い勝手の悪さがあり、新規利用者数がH24年度0でした。

改革改善の考え方

①問題点
 利用者の様子により、ココセコムはとても便利で安全管理上とても有効である。が、機器の大きさや持ち歩き方に不便さがある。

②改革提案
 機器の改善や腕時計式のものがあると良いが、早い時期での改善は難しいので、認知症の相談時等、ケアマネと不都合部分の改善を相談しながら上手に身につけてもらう方法の模索を拡げる。